熱血

野町まさき



高知家 高知県議会

2023 令和5年3月

県政レポート Vol.17

これまでの活動を振り返る！ 2015〜2023 8年間の足跡

人と人、地域と人をつなぐ



ごあいさつ

「人と人、地域と人をつないでいく」。それこそが県議会議員の仕事―。私はそう深く胸に刻み、この２期８年間、取り組んできました。

長引くコロナ禍は、従来の地域社会の在り方を大きく変えてしまいました。私には一貫して変わらない思いがあります。それは８年前、皆さんが、私に託していただいた思いでもあります。安芸市･芸西村の住民の皆さん、市長、村長、自治体の職員の皆さん、市や村の議会議員、各種団体の方々、そして、知事や県庁の職員の皆さん、本県選出の国会議員の方々…。そうした皆さんと、がっちりスクラムを組む。その上で、地域の皆さんの声なき声に耳を傾け、地域の課題と向き合い、応えていく。それが、県議会議員である私に託された使命だと考えています。 **他者を傷つけ誹謗中傷する行為は、コロナ禍で衰退した地域社会に新たな分断の火種を生むだけです。私は、今こそ、もう一度原点に立ち返り、人と人、地域と人をつなぎ、皆さんと手を携えて地域に根差した絆を紡いでいきたい**と考えています。



野町 雅樹

私の県政８策 アフターコロナの新時代にデジタル・グリーン・グローバルの視点を強化!!

1 南海トラフ地震・津波など災害対策の充実強化

地震・津波・豪雨災害などから「命を守る対策」「命をつなぐ対策」「生活を立ち上げる対策」を地域地域でさらに具体化していきます！



2 農林水産業の振興と地場産業の育成

本県の強みである農林水産業を最新技術なども活用してさらに活性化します！ナスの加工品開発など食産業を活性化し、ユズや土佐酒などの輸出も含め自慢の食の地産外商を推進します！



3 高速道路の整備など、公共事業の積極的な推進

高速道路など遅れている公共インフラの整備を加速化します！安芸漁港の沖防波堤や穴内漁港海岸の離岸堤の早期完成を目指します！



4 若者の雇用と結婚、移住・定住の促進

地域で若者が生き生きと暮らし結婚、子育てができるように雇用の場、出会いの場を確保します！空き家や空き店舗などの活用、また住宅地や工業用地の整備を検討します！



5 子育て支援と高齢者、障がい者に優しい社会づくり

子育て支援策を充実させ、働きながら子育てする皆さんを一層応援します！住み慣れた地域で暮らし続けられるようコロナ対策を徹底し、医療と福祉の連携を強化し、ヘルスケア産業を推進します！



6 観光産業の活性化と文化・スポーツの振興

食・歴史・自然・文化・スポーツなどを活かした観光振興を推進します！その地域ならではの体験、広域滞在型の観光を推進します！



7 学力の向上と徳育の推進

地域と協働した教育による生きた学習の推進、地域愛を育む教育を支援します！県外から生徒を募集する地域みらい留学を推進します！高校生の地元への就職定着を推進します！



8 子どもたちがずっと住みたいと思える活気のある街づくり

地域住民の皆さんや各首長、自治体職員、議会議員、各種団体の皆さんとの
良好でスムーズな関係づくりによって、はじめて様々な事業が進むのです!!

支え合いか！分断か？私は、人と人、地域と人をつなぐ

ことに懸命に取り組んできました！



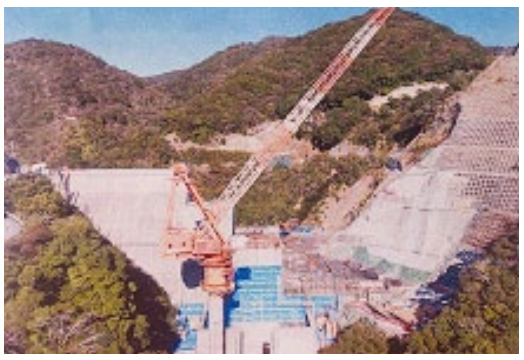
- 達成 中小河川の新たな治水対策補助制度「大規模特定河川事業」安芸川（栃ノ木地区）で工事中（令和元年～20億円）
- 達成 平成30年7月豪雨災害の復旧及び予算確保（県事業のみ約150億円）
- ほぼ達成 和食川河口水門の排水対策（令和3年～約4億円）
- 達成 河川の浚せつ（川底の掘り下げ）単独予算の創設と浚渫工事の促進（平成30年～安芸土木年間予算約9億円）
- 達成 安芸市、芸西村津波避難タワー、避難道の整備促進、令和4年第2期工事、赤野、日ノ出町タワー完成（15基、総事業費26億円）
- 達成 各種資材の高騰対策として燃油、肥料、飼料への価格補てん、既存の園芸ハウスの改修事業の創設
- 達成 旧ＪＡ土佐あきユズ出荷場の自動選果機の高度化（令和2年5200万円）
- 達成 芸西出荷場へのナス自動選果機の導入（平成28年2．3億円）
- 達成 穴内、中芸園芸集荷場のナス選果機の高度化（令和元・2年7700万円）
- 達成 中央出荷場へのピーマン自動選果機、ミョウガ包装機の導入（平成29年6000万円）

- 達成 安芸漁港西用地の越波対策（堤防嵩上げ）完成（令和元年8000万円）
- ほぼ達成 安芸漁港の整備促進沖防波堤100m延伸工事着手（令和2年度から15億円）
- 達成 国予算の呼び水として早期整備した安芸中インター、伊尾木インター線が完成（令和4年55億円）
- 前進 東部自動車道路・安芸道路の整備促進（平成28年～直轄予算　年間150億円超）
- 前進 和食ダムの早期完成と河川改修の促進（令和6年度完成予定　総事業費180億円）
- 達成 安芸市中心商店街振興計画の策定とワークショップの開催による実践
- 達成 企業誘致による雇用の場の確保（大規模園芸農業法人、スジアオノリ陸上養殖会社など）
- 前進 東部看護専門学校を核とした多機能支援施設の整備促進（令和7年4月開設予定）
- 達成 農福連携の推進（安芸市での取り組みが県内及び全国のモデルに）
- 達成 伊尾木洞総合案内所及びトイレの整備（平成30年3000万円）売店の整備検討中
- 達成 中山間地域の小規模高校で全国から生徒を募集する「地域みらい留学制度」の創設拡充（5校57人留学）
- 達成 新県立安芸中高等学校が令和5年4月開校（1人1台タブレットなどAI教育推進事業モデル校指定）
- 達成 農業高校（2校）への次世代型（環境制御型）の実習用ハウスの整備（令和元年、4年　約1億円）

1　南海トラフ地震・津波など災害対策の充実強化

和食ダム早期完成へ！周辺河川改修、河口排水対策進む！

平成 25 年に和食ダムえん堤の岩盤内の亀裂が確認され、節理面への対応工事のため、完成予定が 6 年程度遅れる事態となり、和食ダムの整備と周辺河川改修工事、また和食川河口の排水対策を県はどのように進めていくのか、芸西村の住民の皆さんが不安を抱かれている状況でした。**令和 3 年の県議会 2 月定例会（一般質問）では、土木部長から「和食川の水を直接海岸に排水している排水機場のポンプを活用して、これまでの３５倍の能力で放水路に水を送り込む施設を整備し、来年度具体的な設計を実施していきたい」との答弁を引き出しました。**









本会議場での質疑に臨む

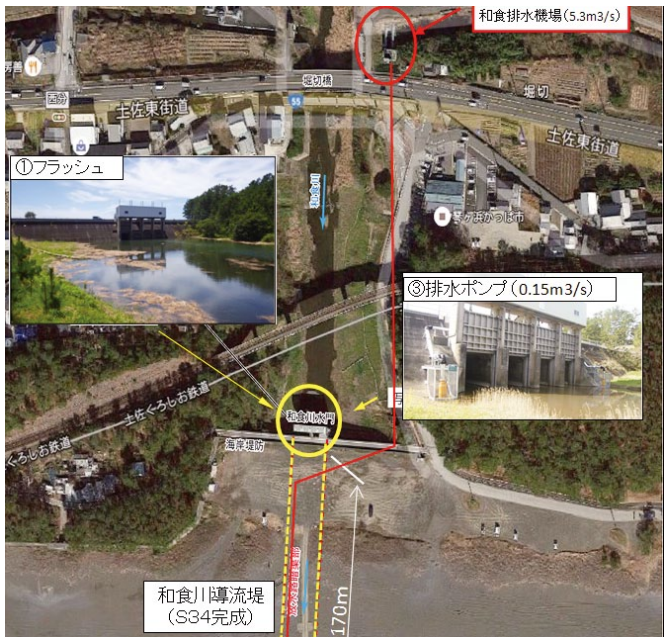
和食川河口導流堤４本の大規模改修が今年からスタート！

●総事業費　2.3億円

令和 4 年度予算　9000万円　令和 5 年度以降　1.4億円を予算化し、住宅、農地の浸水被害回避へ！



水門と砂排出用の仮設ポンプでの実証試験に取り組む。



大規模改修計画図（検討会資料より）

2 農林水産業の振興と地場産業の育成

安芸・芸西の選果機の高度化！集出荷販売機能の効率化！

安芸市・芸西村の選果機、荷造り機が改修され、ナス、ゆず、ピーマンなどの集出荷体制の高度化が進みました。集出荷場の統合については、まだ少し時間がかかるかと思いますが、次代を担う若い農業者の皆さんにとっても、より効率的で機能強化されたものへと脱皮していかなければならないと考えています。

安芸市のゆず選果機を高度化し日本一のゆずを全国、世界へ。ポンカンの光センサーによる糖度選果も実施中。今後、鳥獣害対策、農地基盤整備を更に推進します。
安芸、芸西の誇るべき花産地の振興を支援します。





ＪＡ穴内園芸集出荷場のナス選果機械高速化完成！！





今後は、野菜・ゆず集出荷場などの統合、機能強化が必要です！



ピーマン選果選別ライン（安芸市）



ナス選果選別ライン（芸西村）





農業資材高騰
既存ハウスのリノベーション補助事業創設へ！

燃油、肥料、飼料価格の高騰対策として、強く要望した県独自の支援策の拡充に加え、既存ハウスの有効活用や被覆資材等への補助対象の拡大など、一歩踏み込んだ支援を県に求め、既存ハウスのリノベーションへの補助事業などが創設されることになりました。また、今後、化石燃料からの脱却が必須であることから、ヒートポンプの導入や木質バイオマスボイラーの更新などにも対応するため、**県独自の省エネ機器導入の補助事業も創設**されました。

県独自で省エネ機器導入のための補助事業創設へ！！

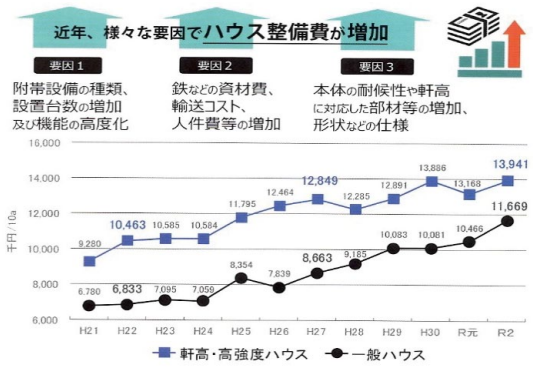


ヒートポンプ加温機



木質バイオマス発電と次世代型園芸を組み合わせ
エフビットファームこうち（パプリカ農園）
本山プロジェクト始動！

新たに次世代型ハウスの整備コスト低減検証事業の創設へ！！



ハウス価格の推移

期待高まるデータ駆動型農業
IoP クラウド「SAWACHI」が本格始動！

県は、本県の経済活性化のキーワードとして、デジタル技術と地場産業の融合を進め、県内に付加価値の高い産業を生み出すことを進めています。農業分野においては「NEXT 次世代型こうち新施設園芸システム」の構築を推進する中で、ハウス内の環境情報や作物の生育情報、さらには出荷情報などのデータを一元的に集積する**IoP クラウド「SAWACHI」が本格始動**。全国的にも類を見ない先進的なプロジェクトとして期待されており、今後とも**日本一の園芸農業の振興策をしっかりと支援**していきます。



環境測定装置の導入も主要７品目の約６割に！



農業現場でも様々なデータ活用を検討しています。



夢ファーム全農ＮＥＸＴこうち（安芸市）
明神県議会議長と現地調査



地域の声を県の施策に反映するため執行部との協議を重ねています。

3 高速道路の整備など、公共事業の積極的な推進

東部高規格道路の延伸着々と！

安芸市・芸西村で高速道路の整備が進んでいます。次々と橋げたの整備も終了。県東部の皆さんにとって「命の道」ともなる高規格道路の全容が見えてきました。県東部の市町村長、議会、県、県議会、国会議員の良好なつながりがあってこそ、**毎年 150 億円を超える国の道路整備予算が配分**されています。また、河川の浚せつ（底面の掘り下げ）や漁港の越波対策など公共インフラの整備も加速しました。

平成30年７月豪雨の直後、知事や自民党幹部の国会議員の先生方に河川浚せつの必要性を強く要望し、**浚せつ事業単独予算が成立、平成30年度には安芸土木事務所に10億円を超える配分があり、その後も継続、 15年前には1000万円であった予算が、直近５年間平均で７．６億円と、７６倍に！**

安芸土木事務所の年間予算総額200億円超、15年前の４倍に！！





国の高規格道路整備予算の呼び水として先行実施を要望した県単独事業での安芸中、伊尾木インター線も完成。

安芸漁港の沖防波堤の延伸工事が始まる！！



安芸漁港西用地、大波の越波



穴内漁港海岸の離岸堤の早期完成に向けて予算を倍増！！



被災後の国会議員、知事らとの現地調査が大きな成果に！！





4 若者の雇用と結婚、移住・定住の促進

移住促進と待ったなしの空き家・空き店舗対策！

夢ファーム全農ＮＥＸＴこうちやスジアオノリの養殖などの企業誘致、また、県内外からの新規就農者が増加しており、Ｕ・Ｉターンなどの移住が促進される一方で、商店街や中山間では空き店舗や空き家が待ったなしの状況に。人口減がもたらす地域への影響は、防災面でも懸念され、地域コミュニティーの存続すら脅かしかねないところまで来ています。そうした中、県、市、商工会議所などが連携し、安芸市中央商店街振興計画を策定、**これまでにない幅広い業種や高校生など、若い方々も参加しての商店街活性化ワークショップが、「安芸市の未来」を話し合う素晴らしい機会**となっています。


ふるさと納税制度の活用に関する意見交換会


安芸市での商店街活性化ワークショップ

●**コロナ禍の支援給付金　安芸市（1123件　3.8億円）　芸西村（109件　0.6億円）**
●**高知県であいサポートセンター（安芸センターの設置）**
2644 人登録　2269 組マッチング　79 組成婚（県全体 H23 ～ R 3）


企業誘致を推進（スジアオノリの養殖）


夢ファーム全農NEXTこうち

空き店舗、空き家、廃校施設などの有効活用を積極的に進めて、Ｕ・Ｉターンなどの移住を促進し、新時代を見据えた新たな仕事、雇用を産み出す取り組みを応援しています。

6 観光産業の活性化と文化･スポーツの振興

広域、体験、滞在型観光の推進！

●**伊尾木洞総合案内所の整備完成　（平成 30 年 1 月 0.3 億円）**
●**高知家まるごと東部博を契機とした東部地域の広域的な観光振興を提言！**
→東部観光協議会による旅行商品の開発・販路拡大へ！
●**コロナ禍での大型観光キャンペーンの延長を提言！**
→１年間の延長で観光事業を支援！









ロイヤルホテル土佐
芸西村からの補助金2500万円で1階フロアをリニューアル！！








白玉糖を使った加工品販売

伝統のサトウキビ栽培、加工品づくり、地場産マルシェなど、地域とともに新たな観光需要開拓へ！！

安芸市に大型道の駅を整備し交流人口拡大と地場産業の活性化を図ります！



5 子育て支援と高齢者･障がい者に優しい社会づくり

安芸版農福連携ケアシステム　県内全域に！

農福連携を支援する就労定着サポーター制度導入へ!!

農福連携に積極的に取り組む農家の皆さんが、就労支援Ｂ型事業所「一般社団法人こうち絆ファーム」を設立するなど、農業現場で安心できる居場所と、生きがいの持てる就労の場を提供していこうと「命を守る」をキーワードに新たな取り組みを展開しています。


一般社団法人こうち絆ファームのナスハウスでの現地調査


農福連携へ サポーター 現場で支援 障害者雇用

長い引きこもり生活から脱しナス農家として自立も！
生きづらさを抱えた方々への添いを大切にします。

安芸版農福連携ケアシステムでは、県、市はもちろん、医療、福祉施設、警察、ＪＡなどの関係機関がガッチリ連携することで、就労定着サポーター制度の導入にもつながり、その取り組みは、県内全域、また全国へと広がりつつあります。



安芸市での農福連携サミット

東部への看護学校誘致に成功 令和７年４月開校へ！

東部地域への看護学校を含む多機能支援施設の設置へ！！

長年の懸案だった**東部地区への看護学校誘致が、看護師を養成する「サテライト教室」というかたちで、令和７年４月に開校**することとなりました。県民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる高知県を目指す、高知版地域包括ケアシステムの一翼を担う多機能支援施設に併設されてのスタートとなります。

看護学生を呼び込み、地域内への就職、定住を促進することで、地域に若者が残り、生活できる仕組みを整えることを目指します。



東部地域こそ訪問看護、介護などの人材を育成する実践フィールドに！
（平成30年9月議会での尾﨑知事の答弁を引き出しました。）
多機能支援施設として活用予定の建物（安芸市宝永町）

7 学力の向上と徳育の推進

新県立安芸中高等学校　令和５年４月開校へ

県立安芸中高等学校と、県立安芸桜ケ丘高等学校を統合し、東部地域の活力ある拠点校として、中高一貫教育校となる（新）県立安芸中高等学校が、令和５年４月開校することになりました。**少子化、人口減に伴い、生徒らの高知市などへの流出が加速する中、東部の進学拠点校として、また、地域と協同し地域の担い手を育成する拠点校**として、未来を担う子どもたちの新しい「協学」が始まろうとしていています。

今後は、安芸海岸など風光明媚な県立安芸中高等学校の**跡地の積極的な利活用が大きな地域課題**です。
空き校舎を宿泊施設や IT 企業などのシェアハウスとして活用、新たな産業の創出などを検討します！



高校と大学、地元企業とのオンライン交流会などを一層進める!!




㈱SHIFT PLUS HPより

要望した地元企業と高校生とのオンライン交流会の拡充や、中小企業家同友会との連携による共育型インタビューシップの実施が検討されるなど、高校生の地元就職、定着を進めています。

県外から、生徒募集する地域みらい留学を一層強化する!!


県立嶺北高校ＨＰより


県立大方高校ＨＰより

人口減少が続く中、室戸高校など5校で地域みらい留学が実施され、全国から延べ 57 名の学生が中山間地域で学んでいます。

8 子どもたちがずっと住みたいと思える活気のある街づくり

今後は、東部地域のアフターコロナ、高速道路新時代に対応するため、市町村や国などと連携して、１～７策をさらに具体化し、これまで以上に地域経済の活性化などに取り組みます！


Information
野町（のまち） まさき
県政事務所
自由民主党
安芸事務所　〒784-0022 安芸市庄之芝町1-46
TEL & FAX 0887-37-9781
E-mail nomachikoenkai@outlook.jp
Face book
野町雅樹
Instagram
m.nomachi
で配信中

本議会、常任委員会、特別委員会は特別の場合を除き、どなたでも傍聴できます。
高知県議会　検索　http://www.pref.kochi.lg.jp/~gikai/